

令和元年度（2019年度）

北海道農業・農村の動向



令和元年度（2019年度）

北海道農業・農村の動向

北 海 道

はじめに

北海道の農業・農村は、先人のたゆみない努力により、厳しい気象条件を克服しながら発展を続け、豊かな自然と広大な土地を活かし、今日では、我が国最大の食料供給地域として、安全・安心で良質な食料を安定的に生産・供給するとともに、食品加工や観光などの地域産業と強く結びつき、地域の社会経済を支える重要な基幹産業となっています。

また、農業・農村は、洪水の防止や水源のかん養、美しい農村景観の形成などの多面的機能を発揮し、国土・環境の保全や、私たちの生活に豊かさとうるおいをもたらしてきました。

一方、TPP11協定や日米貿易協定などによる経済のグローバル化が進展する中、農家戸数の減少や担い手の高齢化、地域コミュニティの活力低下、消費者ニーズの多様化など様々な変化に直面しており、本道の農業・農村が未来に向けて発展していくためには、これらの変化に適切に対応していくことが求められています。

このため、道では、北海道農業・農村振興条例に基づいて策定した「第5期北海道農業・農村振興推進計画」に沿って、安全・安心な食料の安定供給とともに、多様な担い手の育成・確保、農業生産基盤の整備、6次産業化や輸出など高付加価値農業の推進、スマート農業などの戦略的な技術の開発・普及、豊かな農村づくりなどに取り組んでいます。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大が、社会経済に大きな影響を及ぼしており、道では、感染拡大防止の徹底と社会経済活動の両立を目指す取組を進めています。安全・安心な食の提供をはじめ、地域における働く場や新たなライフスタイルの提供、教育、伝統文化の伝承、自然環境の保全など、多様な役割を果たしている本道の農業・農村が一層発展し、その可能性をさらに発揮することは、新型コロナウイルスとの戦いに打ち勝つ大きな力になるものと考えています。

多くの道民の皆様には本道の農業・農村について知っていただくため、最近の動きや、道が令和元年度（2019年度）に講じた施策などを本書に取りまとめました。本書を通じて、より多くの方々に北海道の農業・農村への理解を深めていただき、力強い応援団となっただけの事を願っています。

令和2年(2020年)6月

北海道知事 鈴木 直道

令和元年度（2019年度）

農業・農村の動向等に関する
年 次 報 告

令和2年第2回北海道議会定例会提出

目 次

第1部 北海道農業・農村の動向

第1章 北海道農業・農村を取り巻く情勢

1 我が国の社会経済情勢と農業・農村	1
(1) 社会経済情勢	1
(2) 農業・農村の動向	2
2 食料需給を巡る動き	5
(1) 世界の食料需給	5
(2) 我が国の食料需給構造の変化	7
(3) 食料自給率向上の取組	10
3 国際貿易交渉の動き	11
(1) 停滞するWTO農業交渉と加速化する経済連携の動き	11
(2) 国際貿易協定を巡る動き	11
(3) 国際貿易交渉への対応	12
4 農政の新たな動き	14
(1) 国における新たな農政の展開	14
(2) 北海道スマート農業推進方針等の策定	16

第2章 北海道農業・農村の概要

1 本道農業の特徴と地位	17
2 農業生産の概況	23
(1) 令和元年（2019年）の気象状況	23
(2) 令和元年（2019年）の農業生産	23
3 農村地域の概況	26

第3章 農業構造

1 担い手の動向	28
(1) 農業経営体数と就業構造	28
(2) 農業の担い手の動向	32
ア 認定農業者	32
イ 農地所有適格法人	32
ウ 新規就農者	36
エ 女性農業者等	41
(3) 地域営農支援システムと地域農業を支える多様な人材	44
ア コントラクター（農作業受託組織）	44
イ TMRセンター	45
ウ 酪農ヘルパー	46
エ 地域農業を支える多様な人材	47
2 担い手への農地の集積・集約化	50
(1) 担い手への農地の集積・集約化	50
(2) 農地中間管理機構を中核とした農地の集積・集約化	51
3 農地の動向と土地利用	53

第4章 消費者の信頼に支えられた安全・安心な食づくりや 環境と調和した農業の推進

1 道産食品の安全・安心の確保	59
2 愛食運動の推進	63
(1) 愛食運動の総合的な推進	63
(2) 食育の推進	65
3 環境と調和した農業の推進	67
(1) クリーン農業・有機農業の推進	67
(2) 農村環境の保全と資源リサイクルの推進	74

第5章 主要農産物の生産等の動向

1 稲作	76
2 畑作	79
(1) 畑作物の作付動向	79
(2) 小麦	79
(3) 豆類	82
ア 大豆	82
イ 雑豆(小豆・いんげん)	84
(4) 馬鈴しょ・でん粉	87
(5) てん菜・砂糖	91
3 園芸等	95
(1) 野菜	95
(2) 花き	99
(3) 果実	102
(4) その他	105
ア そば	105
イ 特用作物	105
ウ 薬用作物	106
4 畜産	107
(1) 牛乳・乳製品	107
(2) 牛肉	113
(3) 豚肉	115
(4) 鶏卵・鶏肉	117
ア 鶏卵	117
イ 鶏肉	118
(5) 馬	119
(6) その他の畜産	122
ア めん羊	122
イ 蜜蜂	122
5 飼料作物	124
6 家畜衛生対策の推進	126
7 植物防疫対策の推進	130
8 エゾシカ等による農業被害の防止等	133

第6章 農業・農村における付加価値向上

1 農産物の流通の動向	134
2 食料品製造業の動向	136
3 道産農産物・食品の販路拡大と輸出	138
4 関連産業との連携の強化	142
5 地域資源を活かした6次産業化の推進	144

第7章 農業経営の動向

1 農家経済の動向	148
(1) 農業経営体の経済概要	148
(2) 農業制度資金の活用	149
2 営農類型別農業経営の動向	151
(1) 水田作経営	151
(2) 畑作経営	152
(3) 酪農経営	154
(4) 肉用牛経営	158
3 農業生産資材の動向	162
(1) 農業生産資材を巡る情勢	162
(2) 種 苗	162
(3) 配合・混合飼料	164
(4) 農業機械	166
(5) 肥 料	167
(6) 農 薬	168

第8章 農業・農村の基盤整備と技術の開発・普及

1 農業・農村の整備	169
(1) 農業農村整備の展開方向	169
(2) 農業生産基盤の整備	169
(3) 農地保全と施設管理	172
(4) 農村地域の生活環境整備	175
(5) 農村環境の保全・再生	175
(6) 事業の推進とコスト縮減	176
(7) 農業農村整備事業に係る地元負担の状況	178
2 農業技術の開発・普及	180
(1) 道総研農業研究本部等による技術開発	180
(2) 普及活動の推進	185
(3) ICT・ロボット技術を活用したスマート農業の推進	185
(4) 農業の国際交流の推進	188

第9章 農業関係団体の動き

1 農業協同組合	190
2 農業共済組合	195
3 土地改良区	198
4 農業委員会・農業会議	200

第10章 活力ある農業・農村づくり	
1 農業・農村への道民理解 -----	202
(1) 農業・農村の多面的機能 -----	202
(2) 道民理解の促進 -----	202
2 農業・農村の多面的機能の発揮に向けた取組 -----	204
(1) 多面的機能の発揮に向けた取組 -----	204
(2) 中山間地域等の振興に向けた取組 -----	205
3 農業・農村とのふれあいの場の提供 -----	206
(1) 都市と農山漁村の共生・対流 -----	206
(2) グリーン・ツーリズム -----	207

第2部 農業・農村の振興に関して講じた施策

I 施策の基本方針と施策の重点

第1 施策の基本方針 -----	211
第2 施策の重点 -----	212
1 農業・農村の役割・機能に対する道民意識の共有 -----	212
2 需要に応じた安全・安心な食料の安定供給とこれを支える持続可能な農業の推進 -----	212
3 国内外の食市場を取り込む高付加価値農業の推進 -----	213
4 農業・農村を支える多様な担い手の育成・確保 -----	213
5 農業生産を支える基盤づくりと戦略的な技術開発・導入 -----	213
6 活力に満ち、心豊かに暮らしていける農村づくり -----	213

II 農業・農村の振興に関して講じた施策

第1 農業・農村の役割・機能に対する道民意識の共有	
1 農業・農村の多様な役割・機能のコンセンサスづくり -----	214
2 食育や地産地消による農業・農村に関する理解促進 -----	214
第2 需要に応じた安全・安心な食料の安定供給とこれを支える持続可能な農業の推進	
1 安全・安心な食料の安定供給 -----	215
(1) 安全・安心な食品づくりに向けた取組の推進 -----	215
(2) 道産食品の情報提供等の推進 -----	215
(3) 道民運動としての「愛食運動」の総合的な展開 -----	216
(4) 食育の推進 -----	216
(5) 消費者と生産者との結び付きの強化 -----	216
2 需要に応じた生産・供給体制の整備 -----	217
(1) 消費者ニーズに対応した生産体制づくり -----	217
(2) 効率的で安定的な生産・流通システムの確立 -----	219
(3) 自給飼料生産基盤の確立 -----	220
3 環境と調和した農業の推進 -----	220
(1) クリーン農業の一層の推進 -----	220

(2) 有機農業の一層の推進	221
(3) 自給飼料に立脚した畜産の推進	221
(4) 農業系廃棄物の適正処理の推進	221
(5) 防疫対策の推進	221
4 生産資材の安定供給と鳥獣害の防止	221
(1) 農業生産資材の安定供給	221
(2) エゾシカなど鳥獣による農業被害防止対策の推進	222
5 バイオマス等の地域資源の利活用の推進	222
6 食料自給率向上への貢献	222
第3 国内外の食市場を取り込む高付加価値農業の推進	
1 付加価値の高い農産物の生産と新たな需要の創出	223
2 農業者と商工業者等が連携した地域資源を活かした6次産業化の推進	223
3 地域の特性を活かしたブランド化の推進	223
4 農産物等の輸出促進に向けた環境整備	224
第4 農業・農村を支える多様な担い手の育成・確保	
1 新規就農者の育成・確保	225
(1) 農業への関心や就農への意欲の喚起	225
(2) 就農に向けた相談活動	225
(3) 研修などの就農準備に向けた支援	225
(4) 地域における就農の支援	225
(5) 就農後の経営安定と新規就農者の地域への定着促進	226
2 担い手の経営体質の強化	226
(1) 研修教育の充実	226
(2) 経営体質の強化等	226
3 農業法人の育成	227
4 家族経営体を支える地域営農支援システムの整備・活用	227
(1) 農作業受託組織等の育成・確保の推進	227
(2) 農産物等の流通・加工施設の整備	228
(3) 経営革新や多角化の取組の推進	228
(4) 農業団体の機能の充実	228
5 女性農業者等が活躍できる環境づくり	228
第5 農業生産を支える基盤づくりと戦略的な技術開発・導入	
1 農業生産基盤の整備の推進	229
(1) 農業生産基盤の整備	229
(2) 農地や農業水利施設等の保全管理	231
(3) 農業水利施設等の適切な維持管理	231
(4) 農村地域の防災・減災	232
2 優良農地の確保と適切な利用の促進	232
(1) 計画的な土地利用の推進	233
(2) 意欲ある担い手への農地の利用集積・集約化	233
3 多様なニーズに応じた新品種・新技術の開発と普及	233
(1) 地域農業の競争力を高める技術の開発・普及	233
(2) 環境と調和した持続的な農業の推進	233

(3) 研究と普及の連携による地域支援	-----	234
(4) 農業分野における国際交流の推進	-----	234
4 ICTを活用した省力化や高品質化などスマート農業の実現に向けた 新技術の開発・普及	-----	234
第6 活気に満ち、心豊かに暮らしていける農村づくり		
1 地域の特色ある資源を活かした農村づくりの促進	-----	235
2 農業・農村の多面的機能を発揮する取組の推進	-----	235
(1) 地域住民等も参画した共同活動の推進	-----	235
(2) 多面的機能を発揮する環境づくり	-----	235
3 都市と農村の交流の促進	-----	235
(1) 農業・農村に対する理解の促進	-----	235
(2) グリーン・ツーリズムの推進	-----	236
(3) 農村移住・定住の促進	-----	236
4 快適で安心して暮らせる生活の場づくり	-----	236

参考資料

北海道農業・農村振興条例（全文）	-----	237
第5期北海道農業・農村振興推進計画の概要	-----	242
用語の解説	-----	252

《 事 例 紹 介 》

1.	若手農業経営者事例集の作成 -----	31
2.	雇用就農促進サポート事業の実施 -----	35
3.	農業見学バスツアーの実施 -----	38
4.	「オール宗谷」で宗谷農業の担い手を呼び込み -----	39
5.	活発な青年農業者活動をめざして -----	43
6.	北海道クリーン農業推進計画（第7期）の策定 -----	70
7.	国産飼料に立脚したゆとりの有機牛乳生産（天皇杯受賞） -----	73
8.	オホーツク管内の豆作振興の取組 -----	86
9.	農業生産を支える省力化の取組 -----	94
10.	悲願達成！生乳生産400万トン突破！ -----	108
11.	第17回 北海道総合畜産共進会 1年越しの開催 -----	121
12.	北海道米・道産酒（日本酒）の輸出拡大に向けた取組 -----	139
13.	「食王国・北海道フェア ～東京2020、その先の道へ～」の開催 -----	141
14.	草地畜産基盤整備事業の推進方針の策定 -----	171
15.	基盤部門と研究機関の連携強化【リモートセンシングの利活用に向けた取組】	174
16.	建設コスト縮減に向けた取組事例 -----	177
17.	農業農村整備の必要性・有効性を内外に向けて幅広く発信 -----	179
18.	道産小麦でスイーツが作れる！菓子用薄力小麦「北見95号」／ たくさんとれる！そば品種「キタミツキ」 -----	182
19.	スマート農業の社会実装の推進 -----	187
20.	海外研修を通して大きく成長 -----	189
21.	農村ツーリズムの取組（札幌大谷大学との「農たび・北海道」連携事業） ---	209

○表紙写真

畑作・果樹・稲作・酪農の一コマ

たまねぎ収穫	(富良野市)
ぶどう収穫	(仁木町)
稲刈り体験	(栗山町)
飼養される乳牛	(紋別市)

ぶどう収穫の写真 仁木町 提供

「令和元年度（2019年度）北海道農業・農村の動向」

令和2年（2020年）6月発行

発行 北海道
編集 農政部農政課
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
TEL 011-231-4111 内線 27-124
FAX 011-232-4126

この冊子は、北海道グリーン購入基本方針に基づいて、古紙配合率100%、白色度70%の用紙を使用しています。